



日高市巾着田曼珠沙華ウォーク

2015.09.23 普通 12km ゆったり 7km～9.5km

コースの概要

高麗(こま)神社でバスを降り、神社と神社の裏にある**高麗(こま)家住宅(神官の家)**を見学してウォークスタートです。お昼までトイレがないので必ずトイレを済ませてください。500mほど歩くと高麗王(こまのこきし)の菩提寺である**聖天院(しょうてんいん)**に着きます。中には入りませんが、外からでもその威容をうかがうことができます。その後細い裏道を行き、通称カワセミ街道に出て信号のある交差点で右折し、高麗(こま)川沿いの道を歩きます。国道299に出たら左折し高麗橋を渡り**高麗石器時代住居跡**を過ぎるとすぐに高麗(こま)駅前です。そこを左折し細い道をしばらく歩き、高麗川に架かる鹿台橋(ろくだいばし)を渡ると**巾着田曼珠沙華公園**に到着です。**解散・集合場所はバスの駐車場です。**人出が多いので間違わないようにしましょう。咲き乱れる曼珠沙華を見ながら高麗川沿いを歩いたり、買い物を楽しんだりして時間を過ごしてください。午後はゆったりを選択した人はここからバスに乗り**宮沢湖**に行き、湖畔を散策します。一周しても2.5kmほどですからゆっくり回るのもいいでしょう。普通コースは**ドレミファ橋**を渡って**高麗峠(こまとうげ)**を越え、新武蔵丘ゴルフコースの中にある山道を通りゴールの**宮沢湖**に到着です。増水等によりドレミファ橋が通行不能の場合は迂回路を行きます。この場合、歩行距離が約1km長くなります。

巾着田曼珠沙華公園

巾着田は、日高市の西部、高麗本郷を流れる高麗川に囲まれた所にある巾着のような形をした平地である。8世紀にこの付近に移り住んだ高句麗(こうくり)からの渡来人が、大きく湾曲した高麗川を利用してこの地を開墾して田を作り、稲作を伝えたと言われている。毎年9月～10月にかけて高麗川沿いの河川敷にある5.5ヘクタールの群生地には500万本ともいわれるヒガンバナ(曼珠沙華)が見頃になる。日本一のヒガンバナ群生地であり、祭り等も開催されたくさんの観光客で賑わう。またヒガンバナ以外にも春にはサクラや菜の花が見頃を迎える。夏になるとアジサイやハスが、秋には、コスモスも見る事ができる。また、カワセミやムササビなど、さまざまな種類の野鳥や小動物を観察することもできる。

富士宮歩こう会の歌「四季それぞれ」

- 桜舞い散る 川沿いの道を
友と語りながら 歩いてゆこう
細いあぜ道 石ころ道も
仲間と一緒になら 頑張れる
歩こう 歩こう 今日も元気に
富士宮歩こう会
- 紫陽花の雨 そぼ降る道を
口笛吹きながら 歩いてゆこう
降り続く雨 ぬかるむ道も
仲間と一緒になら 頑張れる
歩こう 歩こう 今日も楽しく
富士宮歩こう会
- もみじ色づく 里山道を
歌を歌いながら 歩いてゆこう
長い坂道 遠いゴールも
仲間と一緒になら 頑張れる
歩こう 歩こう 今日も明るく
富士宮歩こう会
- 雪風が吹く 海辺の道を
両手に息吹きかけ 歩いてゆこう
頬を刺す風 凍てつく道も
仲間と一緒になら 頑張れる
歩こう 歩こう 明日に向かって
富士宮歩こう会

コース

往路(バス) 富士宮駅南口＝河口湖IC＝中央道＝談合坂SA＝狭山日高IC＝国道299＝県道306:00 7:30～45

＝高麗神社・高麗家住宅(WC・体操) 9:00～30

ウォーク 高麗神社(スタート)・・・聖天院・・・高麗石器時代住居跡・・・巾着田曼珠沙華公園(昼食・WC) 9:30 9:40～45 10:50～55 11:30～13:30(ゆったり:14:00)
・・・高麗峠・・・宮沢湖(ゴール) 14:00 14:50～15:00(ゆったり:14:15～15:00)
ゆったり:昼食後バスで宮沢湖に向かい散策(希望者は宮沢湖を一周する。約2.5km)

復路(バス) 宮沢湖＝圏央道狭山日高IC＝狭山PA(WC)＝海老名JCT＝新富士IC＝富士宮駅南口 15:00 15:30～50 17:50

高麗神社

日高市の一部および飯能市の一部にあたる高麗郷および上総郷は716年武蔵国高麗郡が設置された地である。中世以降、郡域が拡大し、日高市・鶴ヶ島市のそれぞれ全域と、飯能市・川越市・入間市・狭山市のそれぞれ一部が高麗郡の範囲となった。668年に唐・新羅に滅ぼされ亡命して日本に居住していた高句麗からの帰化人を朝廷はこの地に移住させた。703年には高麗若光が朝廷から王姓が下賜されたという話が伝わっている。高麗神社はこの高麗若光を祭っている。神仏習合の時代には高麗家は修験者として別当を勤めていた。また、高麗大宮大明神、大宮大明神、白髭大明神と称されていた社号は、明治以降は高麗神社と称されるようになった。境内隣接地には江戸時代に建てられた高麗家住宅がある。入口付近の敷地には、将軍標(しょうぐんひょう・ジャンゲンピョ)がある。1992年に在日本大韓国民団埼玉県地方本部によって木製のものが奉納されたが事故で破損し腐食したため、2005年になって現在の花崗岩で制作されたものが民団中央により寄贈された。将軍標は西武池袋線の高麗駅の広場にも建てられている。

聖天院

聖天院は、高句麗から渡来した高麗王若光の菩提寺として高麗川の左岸に建立された寺である。寺伝によれば、若光に従っていた僧の勝楽が、若光の冥福を祈るためにその念持仏だった聖天歡喜仏を本尊とする寺院を建立しようとした。だが、完成をみないで天平宝字3年(751)に没してしまったので、その後弟子の聖雲(若光の第三子)らが、勝楽の遺志を受け継ぎ一寺を建立した。それが高麗山聖天院勝楽寺である。聖天歡喜仏を本尊として祀ったことから、聖天院の名で広く知られている。江戸時代には、聖天院は高麗郡の本寺として、門末54寺を擁するほど隆盛を誇った。”院主の格式は諸侯に準ずる”とされたほどである。

宮沢湖

埼玉県飯能市にある人造湖。西武グループによりレクリエーション施設が整備されている。ゴルフ場の水として使われている。またこの湖を源流として小畔川や入間第二用水路が流れている。

緊急時連絡

増田春恵 090-4119-3056
三井公博 090-8867-7412

有料WC(100円)

宮沢湖(ゴール)
③14:50～15:00
④14:15～15:00

次回申込 (車内で) びく石と玉露の里ウォーク

☆期 日 10月4日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3500円
☆×切 9月29日(火)

高麗・・・こうらい? こま??

高麗(こま)というのは朝鮮半島から満州までを領有した高句麗(こうくり)のことで、5世紀ごろに高麗と名を変えた。なぜ「こま」というのかは諸説あってはつきりしないが、日本独自の言い方であろう。10世紀に王建(ワン・ゴン)が興した高麗は「こうらい」と呼んで区別している。